

拠出金名：シナイ半島駐留多国籍軍監視団拠出金

国際機関等名	シナイ半島駐留多国籍軍監視団 (略称) MFO					
種 別	国連本体		国連専門機関		その他	
所轄官庁担当局課名	外務省中東アフリカ局中東第一課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト		
平成15年度	54,900	450		1\$ = 122円	(2003年) 0.9	0
平成14年度	61,000	500		1\$ = 122円	(2002年) 0.9	0
平成13年度	107,000	1000		1\$ = 107円	(2001年) 1.6	0
拠出上位5ヶ国						
	国 名		率(%)		左の率及び順位は 2003年のもの	
1位	エジプト		32.1			
2位	イスラエル		32.1			
3位	米国		32.1			
4位	日本		1			
5位	ドイツ		0.6			
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
MFOは、4度に亘って戦火を交えたエジプトとイスラエルとの停戦を確保する組織として、我が国にとって死活的な重要性を有する中東地域の安定のための国際的平和努力の一翼を担っているところ、かかる国際的努力に対する貢献は、中東の平和と安定に貢献してきた我が国にとって不可欠。中東地域の安定が、我が国にとってのみならず国際社会全体にとっての喫緊の課題となる中、同組織が地域の安定確保に果たす役割が益々重要となってきた。我が国の拠出額は予算総額の1%程度にすぎないが、MFOにとっては、同組織が国際的な協調の下運営されていることを内外に示す上で重要な意味を有しており、拠出額以上の高い評価を受けている。なお、我が国は、その拠出金の使途を、文民職員の給与と食料調達に限定している。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
MFOには現在11カ国から派遣された総数1685名の将兵が高い志気と規律をもって平和維持機能を果たしている。我が国が拠出を開始した88年度と比較して兵員規模で約3割減の人数でほぼ同水準の活動を維持しており、コスト・パフォーマンスの高さが認識されている。予算執行も厳しくコントロールされており、独立の外部監査が入り、毎年報告書を加盟国に送付していることも評価される。						
邦人職員数 うち幹部以上	0 うち	人 人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率		人 %	
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称(ランク)		職 員 氏 名		備 考		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2001年～2003年)。